

第 15 回名大東山会関東支部総会議事録

開催日：2023 年 5 月 20 日（土）13 時～15 時

参加者：招待者 8 名、会員 22 名、計 30 名

会場：学士会館 203 号室

1. 支部長あいさつ：平澤支部長

4 年ぶりに対面開催としたが、出席者はコロナ前の半分以下となっている。

同窓会活動に参加する若者をどう増やしていくかが課題ととらえている。卒業生の 75%くらいは同窓会に加入いただいているが、同窓会組織にも関心を持ってもらうために、情報発信の内容等に工夫をしていきたい。懇親会も感染防止対策を行いつつ開催することとした。



2. 来賓挨拶：東山会会長 渡邊激雄様

コロナ禍を経ての実開催は本当に嬉しい。機械航空系はコース別教育が見直され 3 回目の卒業生を輩出。新しいロゴマークを制定した。（新ロゴマークのバッジが出席者に配布された）



3. 世話人紹介

33 名の世話人が紹介された。

4. 会計幹事の変更について

土屋順久の海外赴任に伴い、以下の通り新担当が提案され、承認された。

平田 一成 (H02)

5. 会計報告・監査報告

2022 年度について、資料により報告があり、原案にて承認された。

6. 大学の近況報告：東山会庶務理事 長谷川泰久先生(H6)

➤ 東海国立大学機構について

2020 年に岐阜大学との法人統合で発足。

機構長は松尾清一先生、岐阜大学は吉田和弘学長、名古屋大学は杉山直総長

➤ 新しい試みについて

デジタルユニバーシティ構想を通じた教育の質や教育支援体制の向上を志向（サイバー空間使用による教育の DX 化等）、またカーボンニュートラルに向けた東海プラクティス活動の強化

➤ 新しい教育のプラットフォーム竣工

グリーンベルトに“新しい学生が集まる中心地”となる教育研究の拠点として年度末に竣工予定。学部生中心に集まる空間とするべく、教養学部も駅近くに移動

➤ 収支について

傾向としては、受託研究費は増えているが、授業料は変わらず。交付金は右下がり



工学研究科については、電気代が高騰（3.0 億円が 2.2 倍）、ガス代も 1.5 倍程度に

➤ 工学研究科の陣容

研究課長は宮崎先生（電気）、副研究課長は尾上先生（土木）中村先生（エネルギー）

➤ その他

- ・ 女性（学生も教員も）を増やさないといけない。令和 2 年は 4.0%であったが令和 5 年には 8.6%を目指している。指定校推薦で女子枠を設け募っている
- ・ 2027 年には教員を 2 割削減する必要あり
- ・ 修士への進学は 90%を超えている。博士課程については工学部の後期課程の定員充足率は 84%となり定員未達となっていることが課題。ちなみに機械は 100%の充足率

➤ 旧 7 号館周辺の再開発

2020 年にオークマ工作機械工学館竣工

EI 創発工学館竣工

水力実験棟・7 号館解体中であり、90 年代の面影はなくなりつつある

➤ コロナ禍のイベントと授業も制限されていたが、感染防止に留意しつつ対面主体に移行
工学部・工学研究科支援基金：NUDF-e への協力も賜りたい

7. 特別講演：東京海上日動火災保険株式会社社長 広瀬伸一様

演題は「損害保険事業について」

内容を HP に掲載。

8. 記念撮影

閉会后、記念撮影を行った。



<懇親会>

15 時より懇親会を実施。広瀬様も 30 分ほどご出席された。
盛況のうち、17 時に閉会となった。



東山会副会長 成瀬一郎様



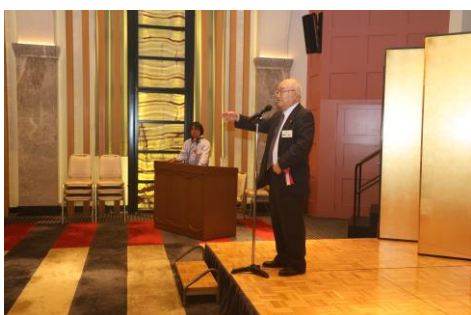
機航系同窓会幹事長 秦誠一様



恩師 田中英一様



恩師 水野衛様



関東支部 藤田顧問

以上